

多賀城民報

題字は池田和京さんにご揮毫いただきました。

日本共産党
多賀城市議団
 多賀城市留ヶ谷一丁目11番23号
 代表(364)3222
 FAX(309)3910

◇弁護士による 法律相談

◇申込
電話で予約して下さい。
 ◇電話
364-3222
 ◇相談日
10月30日(水)
11月6日(水)
 ◇時間
午後1:30~
 ◇場所
旧阿部福商店となり塩釜県民の会事務所

◇議員による 暮らしの相談

電話
 藤原益栄議員
368-6623
070-6497-6623
 佐藤恵子議員
367-0182
090-2027-9884
 柳原きよし議員
368-1883
090-2605-4984
 戸津川はるみ議員
090-7528-2075

10/10 多賀城市当局、東日本大震災調査特別委員会に

新図書館の図面を提示

やはりCCCのイメージ図そっくり、3階建て、吹き抜けの壁一面に高層書架

10日開催の東日本大震災調査特別委員会で、新図書館移転問題が審議され、市当局から初めて図書館のレイアウト図が提示されました。概要をお知らせします。

市から提示されたのは駅北側再開発ビルA棟(西側)とB棟(東側)の平面図と断面図各1枚です。当局は「これはたたき台、今後の協議過程で変更となる場合もある」と言っていますが、7月11日の連携協定共同記者会見でCCC側が提示した完成予想図とよく類似し

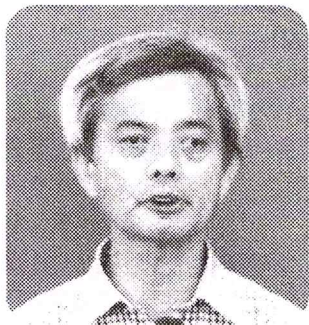
ています。A棟は3階建て、南側半分が図書館、北側が商業施設。1階北側はツタヤ書店とカフェ、南側に図書館、同事務所、移動図書館車の車庫、児童書コーナーなどが配置され、図書館と書店との間は書架で区切られています。書架と書架の間は隙間があり商業施設と

行き来ができるようになっていきます。2階も北側が書店、南側が図書館と閉架書庫、南北は4箇所の渡り廊下でつながっています。3階は北側がレストラン、南側が図書館、学習室、イベントスペース、となっています。質疑では、「児童書コーナーが入口に近い、商業スペースと図書館を書架で仕切っただけでは自由に行き来ができ安全上問題がある」

と図書館運営についても約9時まで開館するという要望があるならアンケート結果を示すべき(戸津川委員)。「教育委員会がCCCと協議した復命書を議会に出すべき」(佐藤委員)等の意見が出されました。

CCCの指定管理とセットではないか、藤原委員が質す
 藤原委員は「これまでの経過を見ると、新聞報道の通りになっている。CCC

大学図書館で四十年 図書館運営に詳しい
多賀城図書館友の会 佐藤正弘さん



新図書館の1~3階の平面図と南北断面図が記載された図面を見る機会があった。

ツタヤ図書館と呼ばれている武雄市図書館と同じ設計、同じ考え方であり、これまで指摘された問題点が十分に解決されないままとなっている。

図面をみた第一印象は、CCCの商業部門(図面では物販と表示)やレストランが中心であり、図書館は全くの付属物であるということである。これでは建物入り口に「多賀城市立図書館」という大きな銘板を付けたとしても、図書館が中心の建物とはいえない。

①児童書コーナーが、商業部門と図書館部門の二つにあり、隣り合わせとなっている。児童書コーナーの機能は、この二つの部門では違うはずであり、奇異に感ずる。その面積は、商業部門のほうが図書館部門の2倍となっている。

このコーナーは、西側入口から直接入れるようになっているが、メインの東側入口からは一番奥となっている。図書館員のいるカウンターの位置と考えあわせると利用者の安全第一がまったく考慮されていない。

なお、図書館の1階に、入口が二つあるというのは商業部門ではありえるだろうが、利用者の安全第一を考える図書館の建物としては一考を要する。(裏面に続く)

《投稿》新図書館構想、私はこう見る

「第9条」があったから...
 大切にしたい財産」と語っていた▼16日の文化欄では「日本文化の源流」は応仁の乱後、將軍足利義政のもとで花開いた中世・東山文化だとし、「明治時代の文学作品のなかで、一番感動させられたのは、石川啄木の日記」で、啄木再評価の研究中とのこと▼「おくのほそ道」では多賀城の部分が一番好きで、憲法9条は大切な財産と語り、啄木に惹かれて...。益々ナルド・キーンさんが好きになってしまった。91歳とのこと。一層のご活躍を...

東風城目

何時からナルド・キーンさんを意識し始めたか定かではないが、『暦のほそ道』に「おくのほそ道」で私が一番好きな部分は多賀城のくだり」という氏の講演の一部を引用させていただいたことがある▼キーンさんは日本文学と文化の研究で名高い米コロンビア大名誉教授。1922年生まれたから日本共産党と同じ年。40年前から東京に住み、日本とアメリカを往復していたが、昨年3月に日本国籍を取得したという▼そのキーンさんが最近相次ぎ「赤旗」日刊紙に登場。13日は「戦後、日本では、戦死した兵隊は一人もいない。それは、多くの犠牲の上にできた『日本国憲法』に